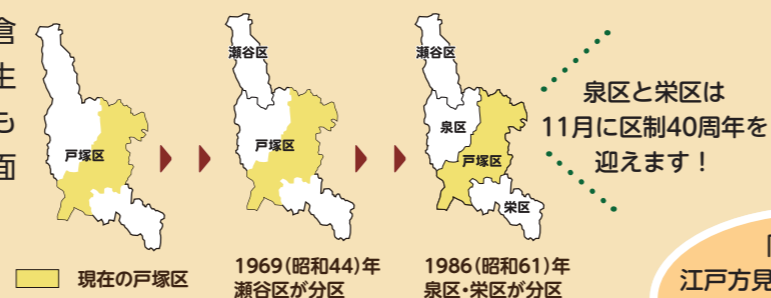


# 知っている?? 「戸塚区」のコト

現在では、28万人以上の方が住む戸塚区ですが今の姿になるまでに、さまざまな歴史がありました。「へえ！ そうなんだ！」と思うような戸塚の歴史、「そういえばそうだった！」という懐かしい場所、いくつありますか？

## Q1 戸塚って、昔はもっと広がってほんと??

「戸塚区」は、今から87年前に鎌倉郡から横浜市に組み込まれて誕生しました。今の瀬谷区、泉区、栄区も昔は戸塚区でした。今の戸塚区の面積の2.5倍以上もありました！



ぼくは自分の住んでいる戸塚が大好き！戸塚の歴史を調べることはまっているよ。戸塚について一緒に調べてみよう！



かつとくんって何者？



少年探偵 かつとくん

## Q2 戸塚に遊園地があったの？

かつて戸塚区俣野町には遊園地「横浜ドリームランド」がありました。東京オリンピックが開催された1964(昭和39)年に開園し、ホテルやプール、ボウリング場やテニスコートなどもある大きな遊園地でした。2002(平成14)年に惜しまれつつ閉園し、現在は、横浜薬科大学と俣野公園、市営墓地となっています。



〈横浜市史資料室所蔵〉

大船からモノレールが走っていたこともあるんだって！



## Q3 「開かずの踏切」ってなに？ 今もあるの？

2015(平成27)年まで使われていた、戸塚駅の北側にあった「戸塚大踏切」のことで。短いときは1時間のうち3分しか踏切が開かず、車の渋滞の原因となっていました。



〈戸塚区制80周年記念誌より〉



▶ 戸塚大踏切デッキ

歩行者用通路「戸塚大踏切デッキ」にも名前がのこっているね！

## Q6 東海道より古い道があるの？

「鎌倉道」と呼ばれる、古くから多くの人に利用されてきた道が通っています。鎌倉時代、幕府が置かれた鎌倉と関東各地を結ぶ道として発達し、江戸時代には東海道から分岐して鎌倉にお参りに行く道として利用されました。



〈横浜市中央図書館所蔵〉



浮世絵に描かれているのは鎌倉の大仏かな？戸塚から鎌倉に向かう人たちが描かれているのかな？



木陰でひとやすみ…

## Q4 東戸塚駅って、昔はなかったの？

東戸塚駅ができたのは今から46年前。地域に住む人たちの要望と民間の会社の支援によりつくられた、まさに「地域みんなでつくった駅」なんです！



▶ 1985(昭和60)年の東戸塚駅周辺



▶ 現在の東戸塚駅周辺

東戸塚駅開業とあわせて駅周辺のまちづくりも進められ今のすがたになったんだね！



## Q5 江戸時代、「戸塚宿」として栄えたんだよね。そもそも宿場ってなに??

江戸時代、江戸から京都を結ぶ東海道が整備されると、街道の拠点として「宿場」が作られました。戸塚宿は江戸から10里半(約42km)の場所にあったので、朝に江戸を出発した旅人の最初の宿泊地としてにぎわいました。

こんなところにも東海道のゆかりがあるよ！



▶ 現在の品濃一里塚

### 品濃一里塚

「一里塚」は、東海道沿いの一里(約4km)ごとにあり、距離の目安となるものです。品濃一里塚は、神奈川県内では唯一ほぼ原形に残っています。



▶ 現在の大橋

### 大橋

戸塚を描いた浮世絵「東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道」。柏尾川を渡る大橋周辺を描いたものです。当時の橋は長さ約18mの板橋だったといわれています。

現在の大橋の3分の1くらいの長さだったんだね！



## 自分の住むまち「戸塚区」を知るきっかけに!

戸塚の歴史の入門書「戸塚の歴史まるわかりBOOK」を配布しています。

配布場所: 区役所3階情報コーナー、区役所9階93番窓口、東戸塚駅行政サービスコーナー

まちの歴史を知ると戸塚がもっと好きになるね!



WEBでも公開中!

